

2017年
12/16
(土)

豪華ゲスト多数

喜多充

完全予約制限定

DADA Journal コラム「唄屋の縁」 連載 150 回記念 LIVE&TALK in 滋賀彦根・ほっこりカフェ 朴

日時: 2017年12月16日(土)17:00 開場・ディナー開始/20:30 終了予定
場所: ほっこりカフェ 朴 [彦根市尾末町1-59 護国神社敷地内 <http://cafemoku.hacca.jp>]
料金: ¥4,000 [ライブチャージ+特製プレート+1ドリンク/中学生以上/完全予約制]
ゲスト: 西崎 匠 [彦根青年会議所第64代理事長]
平尾 一生 [彦根市企画振興部彦根城築城410年祭推進室室長補佐]
杉原 正樹 [DADA Journal 編集長/北風写真館代表]
平間 さと子 [ピアノ]、歳森 隆史 [ギター]



西崎 匠

彦根青年会議所
第64代理事長



平尾 一生

彦根市企画振興部
彦根城築城410年祭
推進室室長補佐



杉原 正樹

DADA Journal 編集長
北風写真館代表



平間 さと子

ピアノ



歳森 隆史

ギター

◎旧湖東町生まれ、多賀町育ちのシンガーソングライター・喜多充が、2004年10月より「DADA Journal」に連載してきた1,000字コラム「唄屋の縁」が、2017年11月に150回を迎えます。これを記念し、彦根でディナーライブ開催決定!ピアニスト・平間さと子、ギタリスト・歳森隆史と、喜多を知り尽くす強力なメンバーと共に、最高の“唄”をお届けします。また今回は連載100回記念ライブ(2012年)、連載10周年記念ライブ(2015年)の際に大好評だったトークセッションをさらに拡大。お馴染みDADA Journal・杉原正樹編集長に加え、喜多の同級生で大活躍中の西崎匠[彦根青年会議所第64代理事長]、平尾一生[彦根市企画振興部彦根城築城410年祭推進室室長補佐]両氏をお迎えし、地元にもつわるエピソードや思いを語り合います。紙面から飛び出した「唄屋の縁」を是非生でご体感ください。「ほっこりカフェ 朴」さん特製ディナーを味わって、ライブにトークに、盛り上がってまいりましょう!

「DADA Journal」・・・毎月第4日曜日の読売新聞の折り込みを中心に、北風写真館より発行されている滋賀県湖東・湖北エリア情報誌。発行部数20,000。

予約: 完全ご予約制先着順につき、お名前、人数、ご連絡先をご記入の上、【info@officedew.com】までお早めにお申し込みください。代金はライブ当日、現金でお支払いいただけます。

注意: ■17:30までにご入場ください。■追加ドリンクはキャッシュオンにてご購入いただけます。

■小学生まではドリンク代500円か食事代1,500円でご同伴いただけます。(要予約)

■お座席と進行の構成上、休憩時以外の途中入退場ができません。ご了承ください。

詳細は喜多充・アマネ公式サイト「唄屋」uta-ya.comにてご確認ください。

トークゲスト・プロフィール



西崎 匠 -ニシザキ タクミ-

公益社団法人彦根青年会議所第64代理事長
/株式会社ニシザキ専務取締役

1978年2月22日生まれ。多賀町出身、彦根市在住。A型。家族はテニスを通じて知り合った妻と長女(11)、長男(6)。大学卒業後、25歳のときに家業である寝具の製造業、株式会社ニシザキ入社。グッドデザイン賞、キッズデザイン賞、ココクールマザーレイクセレクション受賞など機能性やデザイン性に特化した商品づくりにこだわる。公益社団法人彦根青年会議所(彦根JC)には2008年に入会。様々な役職を経て、2017年度は第64代理事長の要職を担う。青年会議所活動を通じて地域の子どもたちを対象に愛郷心を育む事業を実施するとともに、地域資源の発掘や発信に力を入れる。喜多とは多賀中学校、米原高校時代の6年間に共に過ごす。



平尾 一生 -ヒラオ イッセイ-

彦根市企画振興部彦根城築城410年祭推進室室長補佐

1977年6月27日米原市(旧山東町)生まれ。米原高校理数科、関西大学経済学部を経て、2002年彦根市役所入庁。産業部商工課(現・地域経済振興課)で商店街振興に携わり地域活性化事業の魅力を知る。夢京橋あかり館まちなか博物館「MITSUNARI11」の立ち上げに参加。観光企画課では広域観光連携事業や国際観光振興事業、石田三成発信事業に携わる他、「彦根市観光振興計画」の策定を担当。2016年10月より企画振興部彦根城築城410年祭推進室に勤務。宝探しイベント、ブルーインパルス展示飛行イベント、映画「関ヶ原」特別展、記念狂言会などを担当。現在、実家(真宗佛光寺派高禅寺)に、両親、妻、長女(小4)、長男(小2)、犬(雑種2頭)、ネコ(雑種1匹)とともに、田舎を満喫して暮らしている。

喜多とは米原高校時代の3年間に共に過ごす。



杉原 正樹 -スギハラ マサキ-

DADA Journal 編集長 / 北風写真館代表

30年近くDADAジャーナルの編集人をしています。プロフィールが欲しいと言われ、そんなもの真面目に書いたことがないと思いながら、未だに自分が何者なのかわからないので困ってしまいました。思えば、僕自身が書いてきことは誰にも誉められることもなく、世の中の進歩や、何かの役にたつようなことは何ひとつありませんでした。最近、弓道教室に通い始めました。カラム、波兎(竹生島紋様)、ガチャコン、妖怪、入れ歯、オコナイ、城下町の稲荷、鳥居など、興味のあることは全て中途半端で、生き方も定まりません。フィールドで不思議に思ったことを調べながら進んでいくと、いつも前人未踏の新発見にわくわくしているのですが、必ず先人の足跡が残っています。そんなとき、いつもすごいなーと感動します。そして、ソープレイヤーとしてそこまで自力で辿り着いたことに、ニタニタしています。KBSラジオ毎月第4月曜日に、15時過ぎからファミリーレストランさんの番組で話していますので、思いだしたら聞いてください。



喜多 充 -キタ ミツル-

1977年4月12日旧湖東町生まれ多賀町育ち、大阪市在住。

シンガーソングライター。「アマネ」等を経て現在ソロ。ご当地キャラソングをはじめ楽曲提供、映画・舞台劇中歌歌唱を経験。2016年には週刊少年ジャンプ掲載中「磯部磯兵衛物語〜浮世はつらいよ〜」の2.5次元ミュージカル化に際して、約半年間歌唱指導員として招聘され成功を収める。過去10作のCDをリリース。また大学時代より映像クリエイター・エンジニアとして大型映像の投影・演出や撮影・編集に多数携わる。プロジェクションマッピングのメッシュワーピングエンジニアとして2013年「OSAKA光のルネッサンス」、2015年「京都国立博物館大琳派祭」、2016年「心斎橋BIGSTEP Xmas」、2018年公開予定映画「追捕 MANHUNT」等に協力。2013年からはドローン空撮も開始。学術研究会、手術中継、企業会議、展示会等、映像を通じて全国のMICE事業に関わっている。

トークセッションでは4名が地元への思いを語り合います。
話してほしいトークテーマがあればお気軽に【info@officedew.com】までお寄せください。